

議会報告会の成果及び課題について

(H27.05.27 第18回議会改革特別委員会での主な意見)

◎どうすれば市民の多様な意見を聞くことができるか。(会場の設定等について)

- ・ある会場では、参加人数は7名程度であったが、意見交換がスムーズであり、また、地域の課題についての質問が多くあった。
- ・今回はあえて小さな会場で開催したところ、地域の課題が出てきた。どうやって地域の課題をひろうかということに主眼をおいたほうが、今後の伊勢市のためになると感じる。
- ・会場や時間帯、どのような人をターゲットとするかなどを検討して進めていくと、多様な意見が出てくると考える。
- ・地域へ入っていくというような議会報告会を目指した。
- ・小さな会場で開催したことで、非常に中身の濃い内容であったと感じた。小さな会館等を回るのも、ひとつの地域密着型であると感じた。
- ・市民が求めているものところらとのギャップを感じた。いろんな世代、いろんな立場の方に、どういうふうに来てもらうかが課題である。
- ・二元代表制について、もっと市民に説明する必要がある。議員に言えば、なんでもやってもらえると考えているところがあり、議論がかみ合わないことがあった。そこからスタートしなければならないと感じた。
- ・報告の中身についての質問や率直な意見が多かったと思う。
- ・会場で発言するのは難しい、発言しにくいということもあり、議会としてどのような取り組みをしていくかが課題である。
- ・要望等も含めて、議員と市民との懇談会的な形で意見を聞く場も必要である。市長ではつかみにくい、我々しかつかめないような市民の声を聞いて、それを議会の中で発揮していくことが大切であると感じた。

◎その他の成果、課題等

- ・個人としては、議会報告会での質疑、討論により、今後の議会活動でやるべきことやもっと調べようと感じたことがあった。
- ・それぞれの議員が、個別に感じたところで留めておいていいのか。もう少し全体として、例えば、所管の委員会へ回す等の体制もつくっていく必要があると感じる。
- ・いろいろな質問等を予測しながら準備をするなかで、改めて調べることがあったり、議員力のアップにつながると感じた。
- ・個々の議員を指名しての質問がされた場合にどう対応するか、考えておく必要がある。
- ・すごく議会に対して期待してもらっているなということを感じた。
- ・3日間全て、全員がいろいろな役を受け持つようにした点がよかった。